

# 人口ビジョンの進捗状況と見直しに向けての考え方

## 1 人口ビジョンの進捗状況

○現行の人口ビジョンは、2020年社会増減均衡、合計特殊出生率2030年2.0 2040年2.3を仮定値としている

○しかしながら、平成30年の社会動態は2,693人の減、自然動態もこの2年は出生数の減少が大きく、この2年間は合計特殊出生率が低下(H28 1.65→H30 1.59)しており、2019年(10.1現在)の人口ビジョンの目安値1,144,779人に対して、2019年9.1現在の県人口は1,134,488人となっており、乖離が広がっている(▲10,291人)

※H30年の社人研推計における2020年人口は1,131千人 → このまま推移すると2100年人口は45万人前後

## 2 見直しに向けての考え方

### (1) 国の動き

- ・まち・ひと・しごと創生基本方針2019(R1.6.21閣議決定)  
2014閣議決定時 2060年に約1億200万人、長期的には約9,000万人程度を想定  
→ H29推計を使った暫定推計もほぼ同じ結果＝大きな改定は行われない見通し
- ・2020年東京一極集中是正については、達成が困難

### (2) 県の見直しに向けての考え方

・H30の社人研推計をもとに、国の動きを踏まえながら、新たな仮定値を検討中

項目	現行(設定時の考え方)		見直しに向けての考え方
合計特殊出生率	国	2030年 1.8(国民希望出生率) 2040年 2.07(人口置換水準)	<u>変更なしの見込み</u>
	県	2030年 2.0(県民希望出生率、国+0.2) 2040年 2.3(人口置換水準、国+0.2程度)	<u>(国の動きに合わせ)変更なし</u>
社会増減均衡	国	2020年 社会増減均衡(東京一極集中の是正)	<u>達成困難であり、見直しを検討中</u>
	県	2020年 社会増減均衡(国の東京一極集中の是正を反映)	<u>2025年社会増減均衡を目指す</u>